

会 議 録

会議の名称	川島町学校規模適正化検討委員会第4回会議	
開催日時	平成25年11月20日(水) 午後1時30分～2時50分	
開催場所	川島町民会館 1階 研修室	
議 題	(1) 会議録署名委員の指名 (2) 小委員会第1回会議について(報告) (3) 4つの課題の検討 (4) 今後の検討の流れについて (5) その他	
公開・非公開の別	公 開	
非公開の理由 (非公開の場合のみ)		
出席者	委 員	第1号委員 梶野賀一郎、加藤静一、菊池健太、栗原 保 第2号委員 笛木 満、伊藤禎章、小久保 彰 第3号委員 岡部俊夫 第4号委員 蓮見重人 第5号委員 新井真理子、鈴木 智、黒岡諭志、大畑 修 第6号委員 椎橋政広、藤間文隆、矢部京子、山口扶由子
	事務局職員	教育総務課 渡辺英夫、大野喜裕、山崎清美、金井桂子
配布資料	資料1 川島町学校規模適正化検討委員会第3回会議録 資料2 検討事項及び検討の流れ 資料3 県内の小学校の廃止(統合を含む)状況一覧(h25.4.1現在) 資料4 児童数が100人以下の埼玉県内の小学校(平成24年5月1日現在) 資料5 学校の統廃合に関する調査(案) 資料6 児童減少期に向けた小学校の学校規模のあり方に関する報告書(ダイジェスト版)	
<p>審議会等の内容・概要</p> <p>1 開会 岡部副会長</p> <p>2 あいさつ 加藤会長</p> <p>3 前回会議の会議録について(報告)</p> <p>4 議事</p> <p>(1) 会議録署名委員の指名 ・会長より、伊藤禎章委員と小久保彰委員を指名した。</p> <p>(2) 小委員会第1回会議について ・事務局が小委員会第1回会議内容を報告する。</p> <p>(3) 4つの課題の検討</p> <p>【質疑】</p> <p>会長・10月15日の小委員会のまとめを事務局より、説明してもらいましたが、小委員会の委員で補足したい方はおりませんか。</p> <p>委員・ハッ保小学校の場合、現在1年生6名、2年生9名という現状です。学級編制基準で、2つの学年で児童数が16人以下になる場合は、複式学級を立ち上げることになる。2つの学年が一つの教室で、一人の先生が学習内容の違う2つの学年を教え</p>		

なければならない、難しい現実がある。他の学校についても、これからは、そうなる可能性があると考える。

委員・事務局の報告で結構である。前回小委員会へ出た者として、この検討委員会が設置された目的は、統合するかしらないかである。町の施策を待つ方策もあるが、10年や20年では、市街化調整区域を外すのは難しい。現在的手段としては統合しかない。現状のままでいくか、統合するかを決めるのが、最初のステップである。それから、4校を2つずつにするか1つにまとめるか、既存の小学校を利用するか、新設校を造るかを決めていくのだから、早い段階で統合の方へ向かいたいと考える。

委員・より良い学習の創設等の4点を基本に考えながら、統合した方がいいか、しない方がいいか両面から考えているが、統合しないに値する意見がなかった。統合しない方がいいか、した方がいいか諮ってもらった方がいい。

委員・教育の規模だから、理想の規模を考えれば統合しないと、皆さんも口にしないが思っていると思う。

委員・全国学力テストというのがある。学力というのは勉強だけではない。スポーツもある。現在6校の学力調査で望ましい結果で学力が大丈夫な状況かどうか、つかめないと納得がいかない。公表してほしいとは言わないが、人数が少ないとか男女の数が偏るだけでなく、現実の子供たちの学力はどうかである。

委員・今日は三保谷小学校のマラソン大会があり、私は初めて見学した。1年と2年、3年と4年、5年と6年で2学年と一緒に走っていた。学習面では先生も難しいと思うが、楽しくやっていると思った。この委員会は、統合したいからこの会を立ち上げたと思った。三保谷小学校は小規模でも1年から6年まで、全員の顔と名前がわかる。今日も縦割りで4班になって行動して、高学年の子も班を統率する力ができている。人数が少ないからこそ、いい面が出ていると思う。

委員・僕は、はっきりして、4校を1校にと思っている。5年後10年後に中山・伊草も173人位、他の4校が1校になって172人位でバランスがいいと思う。その後、中山・伊草も減っていくから、思い切って2校を1校にと考える。

委員・以前も統合した方がいいと、発言したつもりである。いろいろな条件をクリアするには、その方がいい。4校を1つか6校を1つがいいか、この先児童数がどう変化するか、中学校も1つがいいのか、考えはまとまらないが、一歩踏み出していった方がいいと思う。単級だと先生も負担がかかり、病気にもなれない。統合すれば、先生の立場も現場の負担が減ると思う。より良い方向へ向かうようにと思う。

委員・前回欠席してしまったが、正直なところ私は迷っている。現状では、三保谷小学校があったらいいと思うが、複式の話聞いて、やっぱり学年で別のクラスがいいと思う。④の将来を見据えた検討で、30年40年後に宅地化されれば、今は子供が少ないが後に子供が増えた時のために、学校を残さないといけませんか、10年短期的に見ると統合しないといけませんか。先が見えないので、どちらともいえない、結論が出ない。

委員・皆さんと方向は同じだが、より良い学習環境の創設がポイントなわけで、学校は、教科を教えるのが中心だが、道徳、総合的な学習、特別活動とかいろいろある。ある程度の人数がいれば、適切に人数を付けたり、分割したりできるが、いつも同じ顔ぶれでは、学習環境があまりにも小規模になるといけない。今も前向きにやっているが、切磋琢磨し学力をつけるには、ある程度の人間がいらないといけない。これからの会議の方向としては統合が望ましいと思う。

委員・我々の時代は戦後のベビーブームで大勢子供がいたが、小見野小学校へ今年入学した男の子が2人で、1人じゃよそへ行こうかなという噂を耳にした。学校自体が統合する場合、以前川島中学校が1つになったようにしてほしい。どこかを潰してどこかを残すとすると、潰された方は屈辱である。生徒がいらないから統合しないといけないと思うが、切磋琢磨できる、遊びも教育もできる、公民館と学校の行事はな

くなるが、家族がよかったと思うようにするには、どうすればいいかな、と考える。

委員・私も現在小学生の子がいて、いい面も悪い面も感じている。少人数だと、みんなの顔もわかるし、小学校でも落ち着いている。うちの子はスポーツ少年団の野球チームに入っていて、町で1つになったチームだが、練習が終わると、午後から他の学校の子と約束して、遊ぶようになった。送っていくのだが、友達が増えメリットがあつて良かったと感じている。中1の子もいて、高学年になると、もっと友達が欲しくなると感じる。一步踏み出してやるべきことをやった方がいいと思う。

委員・中山小学校も縦割りは、やっている。持久走大会で、男女別に30人試走したが人数がいないと競争する相手が決まっている。5人10人の中より、人数が多い方がいいと思う。PTA会長をやっている、個人的に考えると違う意味で、4校が1つになると、役員も地域が広くて把握が難しいと思ひ、不安もある。

委員・先日飲み会で、この委員会をやっていると言ったら、地域で孫が一人しかいない、一耕地歩かないといけないのが心配だという意見が出た。地域、学校、子供会、地域性を考えると川島全体で考えればいいと思う。よその地域へ踏み込むことはないが、広い地域になれば、伝統もあるが、他の地域の良いところを取り入れてみたいとか、もっと広い視野で子供たちを見たり、発見もできると思う。

委員・私は町外に住んでいるが、川島町の地域子ども教室などは、地域密着型で6つとも素晴らしいと思っている。私も地域のことは考えないといけないと思うが、まずは子供たちの環境を整えて、次に地域のことを考えていけばいいと思う。前回の小委員会委員から、子供をまず優先に考えたらどうだろうか、地域がついていけばいいのではないかと話していた。私も同じ意見である。次の段階で方法をどうしたらいいか、考えていけばいいと思う。

会長・副会長、意見をまとめてください。

副会長・まとめということですが、全員の意見をいただきありがとうございました。今日この席で統合する方向性が決まれば、あとは方法については、議論していけばいいと思います。

会長・共通した方向性が見えてきました。まずは統合に向いていることでよろしいですね。ご異議はございませんか？

委員・結構です。異議ありません。

(4) 今後の検討の流れについて

【質疑】

会長・では(4)今後の検討の流れについて、事務局からお願いします。

課長 <<資料2今後の検討の流れについて説明する。>>

・これから、小委員会で皆さんに提案する具体的な内容の検討をし、検討委員会で全員にご提示し、基本方針を作っていきたいと思ひます。今後の検討の流れについてご意見があればお願いします。


会長・ないようなので、次へ進みます。

(5) その他

課長 <<資料の3, 4, 5について説明する。>>

会長・皆さんにご審議いただくこととなりますが、よろしくお願いします。

5 閉会 岡部副会長

署名	伊藤 禎 章 
	小久保 彰 